

CAR No.35

Beyond

スーパーFJ  
アルビレックス・レーシング・チーム  
PRESS RELEASE  
2011/7/10

Albirex-RT

スーパーFJ 鈴鹿シリーズ 第4戦

## 短所を発見し自己ベスト更新

第3戦目の反省を生かして予選の組み立て方、冷静な状況判断、勢い良さと正確さを意識して自分よりも早い人達にも意地でも付いていき今回はなんとでもレースをする事を目標にしました。

- 7月8日 自分の走っている所を見てもらい自分の長所、短所が明確に分かってきました。ヘアピンコーナーではグリップからエグジックまではいいが立ち上がりが遅い。ブレーキングではロックしてリリースさせながら車を曲げて行く事が出来ているがブレーキングの一発目からロックしていきブレーキを掛けて少ししてからロックしかけているので一発目の踏み方が弱い所を指摘されました。
- 7月9日 予選当日のフリーでは指摘された所を意識して走行した。前日のフリーで左フロントのタイヤがワイヤーがみえており左フロントだけ交換し走行してみると格段にタイヤのグリップが昨日よりも増えてはいるがマシンのバランスが悪く感じたので路面に左フロントを引っかけるように走りました。指摘された所もヘアピンでは、恐らく旋回速度が早くしかもアクセルワークが雑で立ち上がりが遅くなってしまっている自分の良い所はそのままに自分の悪い所を意識して直して行きました。そうすると特に立ち上がり早い人達にも前回の様にストレートでも離されなくなり結果自己ベストを更新する事が出来ました。予選前の気温は34℃天気は晴れ。今回は早くから自分のペースを上手く作れなかった反省をいかしてコースインしてタイヤも温まっていない時点からペースを上げていきました。NEWタイヤもフリーで使っていたより格段にグリップ力もありしっかりタイヤを上手く使う事に集中しました。でも路面温度も高くタイヤの熱ダレが心配だった為もあり自分中では4周までが勝負と決めてアタックを開始し初めました。予選結果は30位中27位でやはり3周目の2:20.601秒でした。
- 7月10日 決勝日の気温は35℃で天気は晴れ。昨日の予選よりも少し気温が高くマシンにも人にもかなり厳しいコンディションでした。決勝では一つ前のチームメイトの前でチェッカーを受け一つでも順位を上げる事を目標としました。スタートの位置に付きレッドシグナルが電灯しブラックアウト、スタートの発信は上手く行きましたが2速のシフトアップでシフトミスをしてしまい最下位になってしまいました。1コーナーで渋滞を上手く生かして2つ順位を上げる事が出来ました。S字で渋滞に捕まっているチームメイトを抜き18番手になりその後すぐにセーフティーカーが導入され3周を消費しました。その後セーフティーカーが入った後スプーンで一台をインを刺し17番手になりその次の130Rでチームメイトに横に付かれたが何とか抑えきる事が出来ました。その後もかなりリアを滑らして走るチームメイトのタイヤの方が熱ダレは早いと思い出来るだけタイヤに負担を掛けないよう意識しました。4周ほどすると距離も空き初めたので後は前の車両を1コーナーで抜き16位でチェッカーを受けました。今回のレースでは特に決勝での駆け引きタイヤマネジメントやレースの組み立て方などレースの基礎を学べたと思いました。それと車の曲げ方や動かし方などの基本操作にもようやく慣れて来て出来る事が少しづつではありますが多くなったと思いました。また自分の克服しなければいけない所も明確に分かってきました。次回では予選から最も上の順位を狙って行きたいと思います。

総評

中村監督コメント

半年で要約レースの流れが理解できてきた様です。  
今後まだTOPへはタイム差があるので、改善点を出し努力して欲しいです。

Nankai Plan Co.,Ltd.



鈴木会計  
埼玉・川口  
<http://www.tkcni.com/ede>

P PLUS

Moty's

